

メッセージ題「平安・将来・希望」 <先週の講壇より>

「主は言われる、わたしがあなたがたに対していただいている計画はわたしが知っている。それは災を与えようというのではなく、平安を与えようとするものであり、あなたがたに将来を与え、希望を与えようとするものである。」 エレミヤ 29 : 11

「コロナ禍」という言葉が日本ではすっかり定着しましたが、私はこの言葉を最初見た時は「コロナうず？」といった感じで、読むことすら出来ませんでした。「禍」とは「うず」ではなく音読みで「か」と読むわけですが、それは訓読みですと「わざわざい」です。まさにそういった禍／災というしかないような、そんな2年間を私たちは生きている、これが現実です。

しかし神様の言葉である聖書は、私たちに語っています、「禍／災でなく、平安を与えるよ。将来を、そして希望を与えるのだ」と！神様は私たちに、愛、恵み、救い、そして平安と将来と希望を与えるお方です。

ここ最近の寒さの中、新種の変異株が猛威を振るい、禍／災としか思えないようなことばかりが私たちの周囲を覆っています。しかし、だからこそ、生ける神様の御言葉に目を向けてください。そこにあるのは、そこから語られているのは、平安と将来と希望のメッセージです。

オレンジ郡教会 牧師 榊原のぶ



### 《 主 の 祈 り 》

天にまします我らの父よ。願わくは御名を崇めさせ給え。御国を来たらせ給え。みこころの天になるごとく、地にもなさせ給え。我らの日用の糧を今日も与え給え。我らに罪を犯す者を我らがゆるすごとく、我らの罪をもゆるし給え。我らを試みに会わず、悪より救い出し給え。国と力と栄とは、限りなく汝のものなればなり。アーメン

### 《 使 徒 信 条 》。

我は天地の造り主、全能の父なる神を信ず。我はその独り子、我らの主イエス・キリストを信ず。主は聖霊によりて宿り、おとめマリヤより生まれ、ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、十字架につけられ、死にて葬られ、陰府に下り、三日目に死人の内よりよみがえり、天に昇り、全能の父なる神の右に座し給えり。かしこより来たりて生ける者と死にたる者とを裁き給わん。我は聖霊を信ず。聖なる公同の教会、聖徒の交わり、罪のゆるし、体のよみがえり、とこしえの命を信ず。アーメン

### 「オレンジ郡キリスト教会の歩み」

オレンジ郡キリスト教会は 1977 年に発足し、東洋宣教会・北米ホーリネス教団に所属するプロテスタント教会の一つです。北米ホーリネス教団は 1921 年に創立され、現在は日英両語合わせますと 2000 名を越える会員になります。私たちの教会は 18 世紀に、英国で始まったジョンウェスレーによるメソジスト教会の流れを汲みます。そして他のプロテスタント教会同様、3 世紀以来告白され続けてきた使徒信条を、私達の信仰告白と致します。

# 2022年1月9日

## オレンジ郡 キリスト教会

礼拝：9時半～  
聖書の学び：11時～



榊原のぶゆき牧師

(714) 827 - 6244 nobu@occc.org

4872 Bishop St, Cypress, CA 90630

Facebook: オレンジ郡キリスト教会

ホームページ: www.occc.org



### 【教会年間聖句】

「それは平和の計画であつて、災いの計画ではない。将来と希望を与えるものである。」

エレミヤ 29 : 11

### ☆集會案内☆

日曜礼拝 : 09:30-10:40  
ブレイク : 10:45-11:00  
バイスタ : 11:00-12:00  
みふみ会 : (水) 10:00-  
定例祈禱会 : (水) 18:30-

